

【A（1）自主、自律、自由と責任／B（9）相互理解、寛容／C（11）公正、公平、社会正義 など】

生徒による問い作りを通し、自分自身の生活とつなげながら、正義についての理解を深め、道徳的実践意欲を育てる。

	学習活動（主な発問と生徒の反応）	指導の工夫
1	<p>導入：「正義」に、どんなイメージをもっているかを交流する〈10分〉</p> <p>○導入：「正義」に、どんなイメージをもっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正義のヒーロー（のイメージ）は赤。 ・警察。校長先生。 ・権力がある人に正義がある。 ・悪の象徴の正義もあるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「正義」という言葉からイメージする言葉を尋ね、「正義」という言葉をどのように理解しているか、また正義にどんなイメージをもっているのかを確認する。
	<p>教材を見ながら班ごとに意見交換をする〈15分〉</p> <p>○ヨシタケさんが問いかけている正義とは、どのようなものでしょう。</p> <p>（スマホを使う女の子に女性何かが伝えるイラスト：P.83・2段目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優先席付近でスマホを使うのを、注意してるのかな？ ・正義は誰かを守ってる。 ・自分を守ってるのかもしれない。 <p>（戦争についてのイラスト：P.83・1段目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かが幸せになれば、誰かが不幸になるし、誰かが不幸になれば、誰かが幸せになる？ ・正義は、人の主張の押し付け合いのような気がする。 ・誰かが「これが正義だ」って言うかもしれないけど、それに反抗する人が出てくる。 ・反抗こそが正義と思ってるかもしれない。 ・しなやかな正義の人がいるかもしれない。 <p>（虫についてのイラスト：P.82・3段目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫が気持ち悪くて嫌いな人もいる。 ・虫にも正義はある？ ・虫は子孫を残すことが正義。人間が自分勝手に虫を殺している。 ・駆除しなきゃいけない虫もいると思う。害虫とか、作物に被害が出てくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ヨシタケさんがそれぞれのイラストで問いかける「正義って、なんだろう。」について、班ごとに意見交換させ、クラス全体で共有する。 ◆ヨシタケさんのイラストを一つ一つ切り分けて作ったカードを用意し、全体共有の際、発表に合わせて黒板に掲示する。 ◆違う角度からの話し合いを生徒に促す工夫として、「立場をかえたら？」や「本当に？」「たとえば？」などと書かれたカードを用意し、生徒に投げかける。（※） ◆教師は聞き役に徹し、相槌や「なるほど」などの反応をする。
2	<p>話し合いを踏まえて、問いを作り、班でそれぞれの問いの答えを考える〈20分〉</p> <p>◎「正義」について、一人一人「問い」を作り、問いの答えを班で考え、話し合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（生徒が考えた問い）正義は人によって違う。どうしたらみんなの正義になるんだろう。（班で考えた答え）一人で抱えず、みんなで悩みを共有して仲間を増やし、協力することが大切。 ・（生徒が考えた問い）正義は正当化してもよいのか。（班で考えた答え）人それぞれに正義があって、それがぶつかるから争いが起きる。大多数が正しいと思っていることを、悪だと考える人も一定数いる。正義は、正当化できない。 ・（生徒が考えた問い）正義の「セイ」は「正しい」という字だが、正しくないこともある。このままの「正」を使ってもいいのか。（班で考えた答え）新しい「せい義」を考えようと思う。 ・（生徒が考えた問い）全員が納得する正義とは、なんだろう。（班で考えた答え）いくつかの立場があるから、「正義」ができ、「悪」ができる。全てが正しいのであれば、「正義」は成立しない。よって、全員が納得する正義を作ることはできない。 ・（生徒が考えた問い）私の正義ってなんだろう。（班で考えた答え）誰かのためになる、正しいことを進んでできるようになりたい。 <p>▶身近な学校内のことでも、正義のもとに起きている争いはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・争いが発生するってことは、相手の気持ちを理解してないからなんじゃないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆これまでの班での話し合いや、全体共有した際の意見を踏まえ、正義について一人一つの問いを作る。班でそれらの問いについて話し合い、お互いに問いの答えを出し合い、その内容を学級で共有する。 ◆生徒自身が「問い」を作ることによって、「正義」について自分の経験や関心に引き寄せ、具体的な行動を思い浮かべながら考えることができ、自分事として深く掘り下げることができる。 ◆必要に応じて、補助発問等で、生徒の身近な事例などを想起させ、自分事として考えられるようにする。
3	<p>本時の学習を振り返る〈5分〉</p> <p>○授業から学んだことや考えたこと、今後に生かしたいことをノートにまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段、何も考えずに「正しい」と思っていたことが、本当の「正義」だとは思えなくて、その正しいって思っていたことは自分だけの正義だとわかった。やっぱり、人それぞれにあるものだから、押し付け合うのではなく、尊重することが大事だと思った。 ・人それぞれに自分の正義があり、自分の正義が相手の正義を否定して「悪」になることがあるから、少しでも相手の正義に歩み寄ることが大事だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆個人でノートにまとめたあと、数人に発表してもらい、学びを共有する。 ◆話し合いの様子を見て、感じたこと、考えたことなどを伝える。

※対話を促す言葉のカードは、NHK for school「Q～こどものための哲学」で紹介されているもの。